第　64　号　180316　　作成　図書係

履正社学園豊中中学校・履正社高等学校　図書館

図書館だより

多くの中3・高3の皆さんが、受験のラストスパートをかけて、図書館のキャレルで熱心に勉強している姿がありました。合格の嬉しい報せも届いています。
1・2年生の皆さんも、大いにキャレルを利用して下さい。

こんな本が貸し出されています。

『地方消滅：東京一極集中が招く人口急減』
-by 増田寛也

『あの頃ぼくらはアホでした』
-by 東野圭吾

『スクランブル・マインド』　-by キャロル・マタス

『学びとは何か：〈探究人〉になるために』
-by 今井むつみ

『破戒』　-by 島崎藤村

図書館利用状況
（延べ人数）

	11月	12月	1月	2月
中学生	284	106	193	232
高校生	1304	1202	946	492
合計	1588	1308	1139	724

最近　本、読んだ？

本校では、キャレルの利用に比べ、図書の貸し出し利用が多くありません。

評論は社会を照らし、詩や小説などの文芸は人生を照らすといいます。人生を豊かにする良き本との出会いを！

新着図書のご案内

リクエスト本も届いています！

『歴メシ! 世界の歴史料理をおいしく食べる』

遠藤雅司（著）　柏書房

著者は、音食紀行（音楽と食で世界をめぐる）というイベントを各地で主宰しています。池本先生（高校理科）も昨年参加して、中世プロイセンの再現料理を食してきたとか。

ヨーロッパの昔の料理を再現している本ですが、食生活から見た西欧史としても面白い。マリー・アントワネットの日常食とか、香辛料が権力の誇示そのものだったとか、知っていました？

『残像に口紅を』

筒井康隆（著）　中公文庫

高2-4男子のリクエスト本です。

最初の章が、『世界から「あ」を引けば』で始まり、以後、この小説に「あ」の文字は現れません。しかし著者の語彙力と卓抜した言語感覚で、単なる実験作の域にとどまらず、感動的な作品になっています。

少しずつ音が失われていく 制約の中で、残像を漂わせながら言葉が消えていくおかしみと悲しさとの不思議な感覚を楽しめると、小池先生（高校国語）もお勧めです。

大学入試改革

2020年度から（対象学年は現中３生）新しい「大学入試共通テスト」になります。マークシート式から100字程度で答える問題も含む記述式に変わります。思考力や表現力が求められ、実生活に即した場面で活用できる力を意識した内容となります。すでにその傾向は今年の大学入試でも先取りされ、出題に反映されています。読む力、考える力、表現する力をつける即効薬はありませんが、読書量がカギを握りますよ！

受験生、嘆き節

「先生、受験の時、傍にいて問題文を噛み砕いて説明して！そうしたら答えは自分でわかるから！」
そんな言葉を、受験生からよく聞きます。

読解力が不足気味で、その問題に扱われている事柄について、自分の言葉に置き直して語り切れない生徒は、国語だけでなく、理数系の問題に取り組むにも四苦八苦しています。

時間のある春休みには、ぜひ楽しみながら読書をしてほしいものです。

春休みに、本を読もう！

春休みの貸し出しは4/9(火)返却です。

リクエスト歓迎！

生徒の皆さん、気軽にリクエストをして下さい。 先生方も生徒に読んでほしい本をどんどん推薦して下さい。読む力を高めるために、学校を挙げて、さらなる工夫をしていきましょう！

…読後感想紹介…

『勝負脳の鍛え方』

林成之（著）　講談社現代新書

成功を収めるには、それが成功するまでの過程をしっかりイメージし、予想外のことが起こっても対応できる考えを持っておくことが大事。もし迷ったときは初心に戻ることが大切だなと改めて思いました。そして勝負事は、相手の弱点を攻めるのではなく、相手の得意なところを打ち砕くことが大事なのです！

（高3-1　男子）

『14歳のための物理学』

佐治晴夫（著）　春秋社

現代宇宙論、哲学、あるいは詩などの香りを交えながらわかりやすく書いてあったので物理学に無知な僕でも楽しく読めました。

最初に「2012年に何かが起こる？」という話から始まって、読み進めていくと、後の話につながる手がかりがたくさん仕組まれていたので、作者さんは賢いなと感心しました。

『Newton(ニュートン) 2月号』　ニュートンプレス

$$2=\sqrt{2+\sqrt{2+\sqrt{2+\dots}}}$$
$$3=\sqrt{6+\sqrt{6+\sqrt{6+\dots}}}$$
$$4=\sqrt{12+\sqrt{12+\sqrt{12+\dots}}}$$

特集の『美しき無限の数式』では、様々な規則性を持った数列を無限に足していくとどうなるか、その結果が円周率πを用いて表されるものがあること等が紹介されています。「どこまでも続く連合数」や√の中に無限の√を用いて表した数式「無限多重根号」の話など、どれもあっと驚かされると同時にその美しさに息を呑みます。高校生の知識で十分理解できるように説明されているので、数学に興味がある人もない人も、ぜひ読んでみて下さい。

また、別の特集『デザイナーベビーは産まれるのか』では、「生殖医療」における「ゲノム編集」という技術の話があり、こちらの方も考えさせられました。必見です。

（川合先生　高校数学）

雑誌のバックナンバーもいろいろありますよ！